



健康マーじゃん八段

清水 憲二さん

しみず・けんじ

若葉町在住。

高齢者に人気の健康マーじゃんで、第29回道民麻雀選手権大会で優勝し、北海道知事賞を受賞したことが認められ、令和3年度北広島市文化賞を受賞した。



きつかけはねりんピック

昨年11月3日に、令和3年度北広島市文化賞を受賞した清水憲二さん。マーじゃんの愛好家で、第29回道民麻雀選手権大会で優勝し、北海道知事賞を受賞したことが認められた。

清水さんが行っているのは「賭けない・飲まない・吸わない」をスローガンに掲げた健康マーじゃんだ。マーじゃんが好きな人が純粹にマーじゃんを楽しむために生まれた。競技マーじゃんともいわれる。認知症の予防のために始める方も多く、高齢者に人気なのだそう。

平成22年、知り合いから誘われて高齢者を中心とするスポーツ文化・健康と福祉の総合的な祭典、第23回全国健康福祉祭いしかわ大会（ねんりんピック石川2010）に出場すると個人3位になった。石川県知事賞も受賞したが「やるからには勝ちたい」という負けず嫌いに火がつき、その後も段位審査会や月例会などで技を磨いた。ねんりんピック長崎大会と和歌山大会にも出場している。

健康マーじゃんの面白さを聞くと「私語が禁止で、いろいろ厳しいルールはありますが、相手との駆け引きや、先が見えないのが面白い。メリハリをつけて強気のマーじゃんで勝負します」と答えてくれた。

また、ねんりんピックに出場したい

北広島で公園巡視

札幌市出身の清水さん。平成17年から北広島に住んでいる。

「北広島は緑が多いですよ」と話す。シルバー人材センターの会員として、公園の巡視活動をしたり、民生委員として家庭訪問も行っている。介護施設や農家へ手伝いに行くこともあり、70歳を過ぎても元気に飛び回っているようだ。

今後の目標

「全国に麻雀段位審査会があり、90代の先輩もいるので、まだまだ頑張ります。ねんりんピックや国民文化祭など全国大会に参加して全国に友人ができました。今年、沖縄で行われる国民文化祭に参加したいです。あと5年はやれるかな」と、これらの目標を話してくれた。

今後、健康マーじゃんが世間に認められ、文化として広がって行くといいですね。



昨年11月3日に行われた令和3年度文化賞表彰式